

# 鹿児島県感染症情報

## 2022年 第23週報 (6月6日~6月12日)

発行：鹿児島県環境保健センター（内容に関するお問い合わせ：健康増進課感染症保健係）

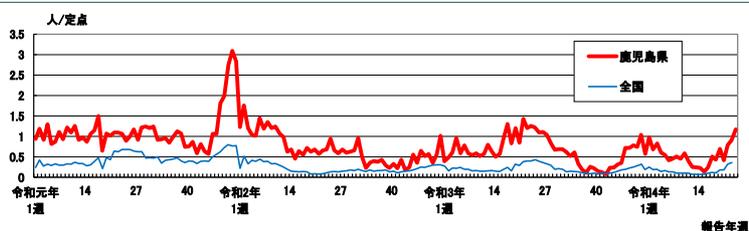
※ 感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryu/kansen/index.html>

県内の新型コロナウイルス感染症は、6月12日時点での届出総数は87424例です。新型コロナウイルス感染症は、減少傾向にはありますが、次は、これまで毎年のようにエピデミック（特定の地域）に感染拡大していた「季節性インフルエンザ」の流行が危惧されています。インフルエンザウイルスは新型コロナウイルス感染症の流行禍にあっても、再登場の機会を窺（うかが）っているのかもしれませんが。生物の生態系の不思議を感じます。

生物はニッチ（ある環境に合わせた最適な住処をみつけて生き延びること。経済学的にはすきま産業ともいう。）を見出すことによって、生物多様性を獲得してきました。生き抜くための戦略としては「戦わない」ことも戦術のひとつです。また、ニッチを素早く探すことで、オンリーワンの座を得ることも大切です。さらに、今よりも弱毒化した新型コロナウイルスだけは生き残り、人間社会に定着していくと考えられます。適度な免疫を保持し、ウイルス側も宿主にダメージを与えないものへと変化することが、人間との「共生」成立につながります。ニッチ (niche) の語源はラテン語の「nidus (nidus)」で、くぼみや適所等という意味があります。

本県における咽頭結膜熱の報告数は、3週連続で増加しました。例年、この時期から夏頃まで流行がみられます。予防対策としては、帰宅後や食事の前には、流水と石けんによる手洗い、うがいを励行し、タオルの共用は避けるようにしてください。また、器具の消毒には煮沸及び次亜塩素酸ナトリウムが有効です。

本疾患はアデノウイルスによる急性の感染症です。通常は飛沫感染ですが、管理の不十分なプールの水を介した結膜からの感染や、タオルや手指を介した接触・経口感染もみられます。潜伏期間は5~7日です。症状は39~40℃の発熱に始まり、その後咽頭炎（のどの赤み、痛み）、結膜炎が現れます。



本疾患がアデノウイルスに起因していることから、厚生労働省は「今後の感染者数の動向と、小児急性肝炎の間に関連があるのか注視したい」としています。左図には本県における咽頭結膜熱の週別推移を示してあります。

第23週の定点報告疾患の報告数をみると、出水保健所の手足口病が4週連続、咽頭結膜熱が3週連続で流行発生警報域です。また、全数報告疾患をみると、梅毒の届出が6月12日時点で61例となり、保健所別では鹿児島市（40例）、始良（8例）、鹿屋、川薩（それぞれ4例）の順でした（次頁下段を参照）。

### ☆一～五類感染症(全数報告疾患)の発生状況

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核2例（肺結核2例）
三類感染症	発生報告なし
四類感染症	レジオネラ症1例
五類感染症	急性脳炎1例、後天性免疫不全症候群（HIV）1例、梅毒2例 追加梅毒1例：第20週
新型コロナウイルス感染症等感染症	新型コロナウイルス感染症2532例

### ☆定点報告疾患の発生状況

- ・今週の定点医療機関は、インフルエンザ定点91、小児科定点53です。（通常より各1減）
- ・第23週の定点把握対象疾患の総報告数は569人で、前週より64人少ない報告数でした（4頁参照）。

・流行発生警報の基準値（開始基準値及び終息基準値）以上の保健所

【咽頭結膜熱（開始3.0、終息1.0）】：出水(3.00)、【手足口病（開始5.0、終息2.0）】：出水(5.33)

・流行発生注意報の基準値以上の保健所 該当なし

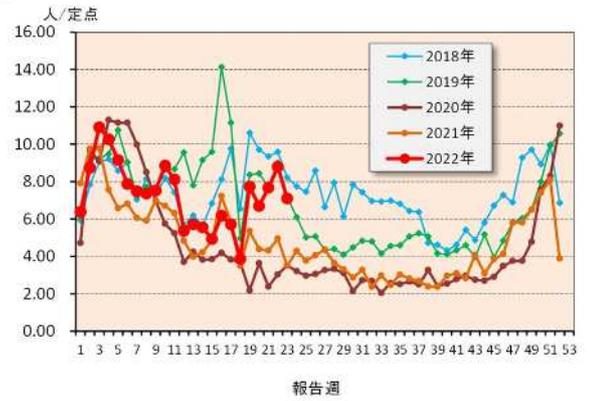
☆定点報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患の発生状況）

(1) 感染性胃腸炎

第23週の感染性胃腸炎の報告数は376人で、前週より90人少なく、定点当たりの報告数は7.09であった。

年齢別では、1歳、2歳（それぞれ54人）、10～14歳（40人）、4歳（37人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿児島市保健所（13.08）、鹿屋保健所（12.80）、指宿保健所（8.50）の順に多い。

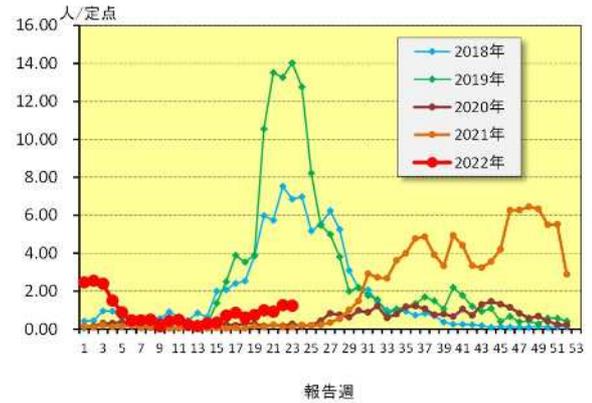


(2) 手足口病

第23週の手足口病の報告数は66人で、前週より1人少なく、定点当たりの報告数は1.25であった。

年齢別では、1歳（33人）、2歳（12人）、6～11ヶ月（10人）であった。

保健所別の定点当たり報告数は、出水保健所（5.33）、名瀬保健所（3.33）、指宿保健所（1.50）の順に多い。



(3) 咽頭結膜熱

第23週の咽頭結膜熱の報告数は62人で、前週より14人多く、定点当たりの報告数は1.17であった。

年齢別では、1歳（37人）、6～11ヶ月、3歳（それぞれ7人）、2歳（6人）の順に多かった。

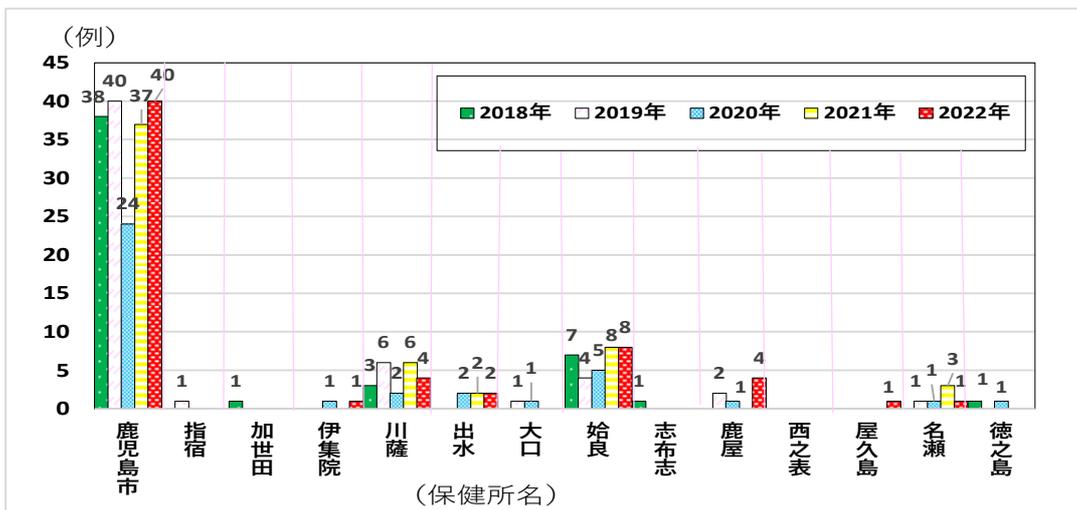
保健所別の定点当たり報告数は、出水保健所（3.00）、始良保健所（2.17）、鹿児島市保健所（1.62）の順に多い。



※ 第22週報に訂正箇所があります(1頁目の冒頭部分)。

新型コロナウイルス感染症の6月5日時点での届出総数は  
誤 82083 例 → 正 84892 例 ですので、修正をお願いします。

【梅毒関連情報】

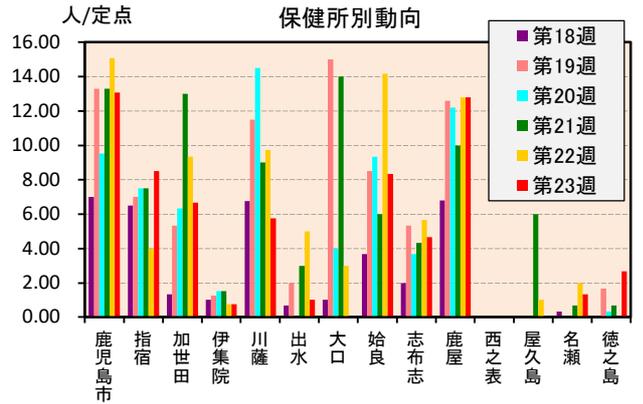
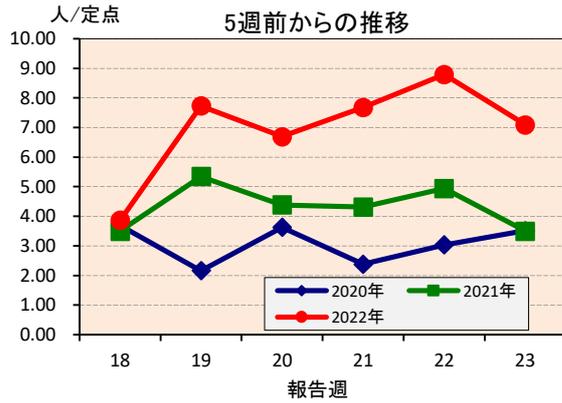


資料：鹿児島県における梅毒の年別届出状況(2018～2022年)

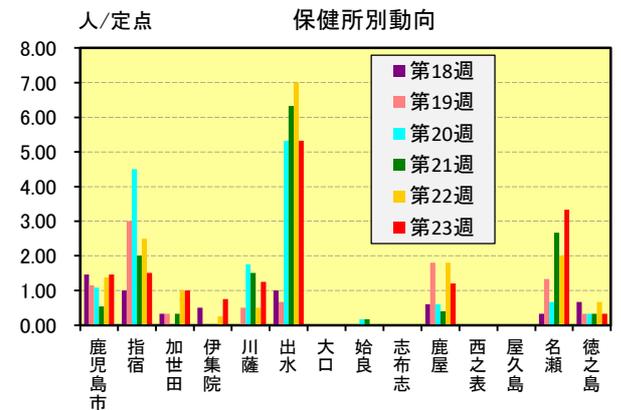
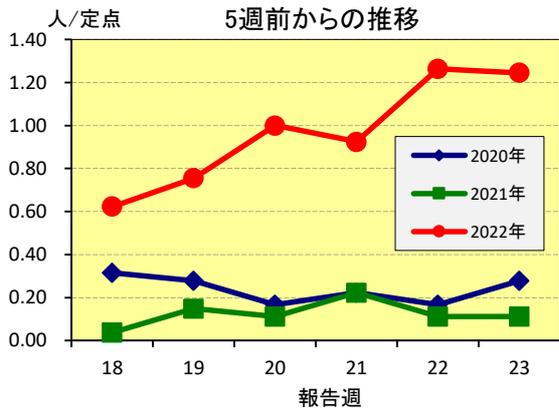
※ 2022年の数値は6月12日時点での届出数です。

上位3疾患の5週間前からの定点あたり報告数及び保健所別動向

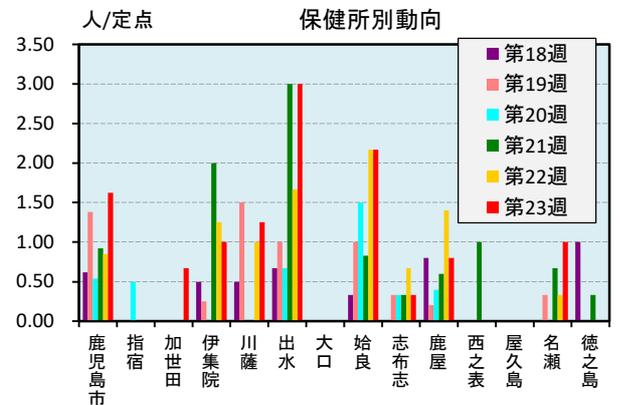
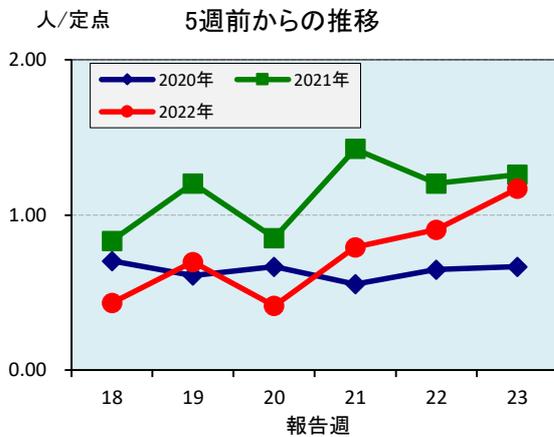
(1) 感染性胃腸炎



(2) 手足口病

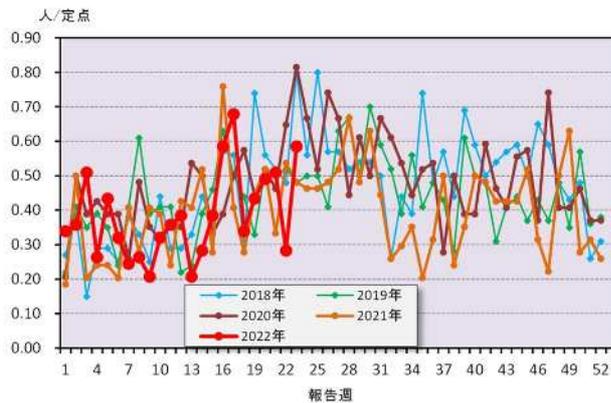


(3) 咽頭結膜熱

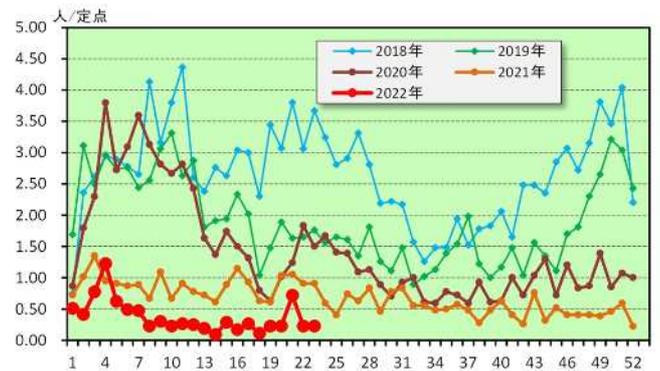


☆注目される感染症の発生状況

★ 突発性発しん（鹿児島県）



★ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（鹿児島県）



☆定点報告疾患の発生状況

2022年	(報告週)	第23週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2022年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	-	-	11
小児科定点	○ 咽頭結膜熱	62	1.17	661
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	0.23	451
	感染性胃腸炎	376	7.09	8,891
	○ 水痘	4	0.08	115
	手足口病	66	1.25	1,101
	○ 伝染性紅斑	1	0.02	14
	○ 突発性発しん	31	0.58	465
	ヘルパンギーナ	6	0.11	126
	流行性耳下腺炎	3	0.06	51
	○ RSウイルス感染症	7	0.13	703
眼科定点	急性出血性結膜炎	-	-	-
	流行性角結膜炎	1	0.14	61
基幹定点	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	2
	無菌性髄膜炎	-	-	6
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	0.00	2
報告数合計		569	0	12,660

○印は前週比増

☆5週間前からの疾患別報告数・定点当たり報告数

	5週前 (2022年18週)	4週前 (2022年19週)	3週前 (2022年20週)	2週前 (2022年21週)	1週前 (2022年22週)	今週 (2022年23週)
インフルエンザ	報告数 - 定点当り -	- -	- -	- -	- -	- -
RSウイルス感染症	報告数 2 定点当り 0.04	2 0.04	2 0.04	5 0.09	6 0.11	7 0.13
咽頭結膜熱	報告数 23 定点当り 0.43	37 0.70	22 0.42	42 0.79	48 0.91	62 1.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 6 定点当り 0.11	12 0.23	12 0.23	38 0.72	12 0.23	12 0.23
感染性胃腸炎	報告数 205 定点当り 3.87	410 7.74	355 6.70	407 7.68	466 8.79	376 7.09
水痘	報告数 4 定点当り 0.08	5 0.09	2 0.04	3 0.06	3 0.06	4 0.08
手足口病	報告数 33 定点当り 0.62	40 0.75	53 1.00	49 0.92	67 1.26	66 1.25
伝染性紅斑	報告数 - 定点当り -	- -	- -	1 0.02	- -	1 0.02
突発性発しん	報告数 18 定点当り 0.34	23 0.43	26 0.49	27 0.51	15 0.28	31 0.58
ヘルパンギーナ	報告数 7 定点当り 0.13	6 0.11	11 0.21	9 0.17	7 0.13	6 0.11
流行性耳下腺炎	報告数 3 定点当り 0.06	1 0.02	4 0.08	2 0.04	3 0.06	3 0.06
急性出血性結膜炎	報告数 - 定点当り -	- -	- -	- -	- -	- -
流行性角結膜炎	報告数 1 定点当り 0.14	2 0.29	3 0.43	- -	5 0.71	1 0.14
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数 - 定点当り -	- -	- -	- -	- -	- -
無菌性髄膜炎	報告数 - 定点当り -	- -	- -	1 0.08	1 0.08	- -
マイコプラズマ肺炎	報告数 - 定点当り -	- -	- -	- -	- -	- -
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数 - 定点当り -	- -	- -	- -	- -	- -
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 - 定点当り -	- -	- -	- -	- -	- -

# 疾病別保健所別患者報告数及び定点当たり報告数(男女合計)

2022年23週(06月06日～06月12日)

総数	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
鹿見島市	-	-	3	0.23	21	1.62	3	0.23	170	13.08	4	0.31	19	1.46	-	-	11	0.85
指宿	-	-	1	0.50	-	-	-	-	17	8.50	-	-	3	1.50	-	-	2	1.00
加世田	-	-	-	-	2	0.67	-	-	20	6.67	-	-	3	1.00	-	-	4	1.33
伊集院	-	-	-	-	4	1.00	2	0.50	3	0.75	-	-	3	0.75	-	-	1	0.25
川薩	-	-	1	0.25	5	1.25	-	-	23	5.75	-	-	5	1.25	-	-	3	0.75
出水	-	-	-	-	9	3.00	2	0.67	3	1.00	-	-	16	5.33	-	-	3	1.00
大口	-	-	2	2.00	-	-	3	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	-	-	13	2.17	2	0.33	50	8.33	-	-	-	-	-	-	6	1.00
志布志	-	-	-	-	1	0.33	-	-	14	4.67	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	-	-	-	-	4	0.80	-	-	64	12.80	-	-	6	1.20	1	0.20	1	0.20
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	3	1.00	-	-	4	1.33	-	-	10	3.33	-	-	-	-
徳之島	-	-	-	-	-	-	-	-	8	2.67	-	-	1	0.33	-	-	-	-

総数	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎(真菌性を含む)		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
鹿見島市	1	0.08	2	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
指宿	1	0.50	1	0.50	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加世田	1	0.33	-	-	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伊集院	-	-	-	-	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
出水	-	-	-	-	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大口	-	-	-	-	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
志布志	-	-	-	-	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	3	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西之表	-	-	-	-	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
名瀬	-	-	-	-	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	-	-	-	-	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

